

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×報告をすると面倒な課題を押しつけられると思うのは誤解だ！

「報連相」は、社内コミュニケーションの基本で、人体にたとえば、常に循環している血液のようなものである。血液は若いときにはよく循環するが、年齢を重ねると凝固や混合物が入り込み、正常な動きができずに深刻な病気を起こす原因となることもある。入社間もないころは、新しいことへの吸収力があるから、それなりに「報連相」をしていくものだ。しかし、何年かたつと自分の仕事の流れをパターン化して、あまり「報連相」をせずに、うちにこもって仕事を進めるようになる人がいる。なぜだろうか？それは、下手に報告すると面倒な仕事を与えられると思っているからではないだろうか？楽な毎日の過ごし方のコツを会得していくのである。なんと悲しいことか。これでは、成長が止まってしまうが、意外にこういう人は多いものだ。それを防ぐためには、会社や上司から求められる前に、自ら率先して「報連相」をしていく必要がある。また、「報連相」の意義はそれだけではない。あなたの「報連相」が、上司や社長への経営のヒントとなり、業績に大きく貢献するきっかけになることさえある。

※報告の2つの種類

①業務の報告

支持された仕事の状況や結果を知らせる結果・進行状況・変化・問題・今後の見通しなど

②情報提供の報告

考えや気づいたことを積極的に知らせる市場・お客様・業界・行政・社会の動きなど

※報告の4つのステップ

1：直接の支持者に

指示命令を受けた人に直接報告をする

2：結論を先に

状況や経過は後回し、結論が先

3：事実を正確に

自分の憶測をより、まず事実

4：簡潔に

要点をまとめ1分間を目安にする

報告の種類2つは何ですか？

() ()

報告の4つのステップは何ですか？

(1 :)

(2 :)

(3 :)

(4 :)



(社員教育用)